

2011年鶴報特別号

Special issue

発行日：平成23年12月
 発行者：学生会広報 後藤優太

学生会活動

現在の学生会は2年生～4年生で構成され、各学年4人の合計12人で活動しています。

今年度は募金活動に力を入れ、東日本大震災復興募金・赤い羽根共同募金・よりあい募金を行いました。復興募金は校内で行い学生や教職員の方々にご協力いただきました。この募金で集まったお金は、高専機構と赤十字に贈られています。昨年度は行っていない赤い羽根共同募金は、地域との連携で学校の外へ出て行いました。地域の方とふれあいながら活動でき、とても良い経験になったと思います。よりあい募金は高専祭と同時進行で行いました。どの募金も多くの方々に協力していただきました。



校内のゴミ拾い

募金以外の活動では、自転車マナーアップキャンペーン・交流会・ゴミ拾いなどを継続的に行っていきます。

自転車マナーアップキャンペーンは毎年地域との連携で行っており、主に自転車通学生を対象に、「運転中はイヤホンで音楽を聞かない」・「二人乗りをしない」など、自転車のマナーについての意識向上を目指しています。



交流会は「東北交流会」・「全国交流会」とあり、各高専の学生会役員から代表を数名選出し話し合いをします。学生会の活動内容や学校行事など多くの議論がかわされます。学校に戻ると交流会で得た他の高専の意見を参考に、



赤い羽根募金

今後の活動で何ができるか、何をするかを話し合います。

ゴミ拾いは毎週金曜日の昼休みに行っており、トングとゴミ袋を持って校内を歩き、落ちているゴミを拾っています。ゴミはガムやアメの包装紙・袋が大半をしめていますが、落ちている量は少ないです。皆さんがしっかりとゴミはゴミ箱へ捨てていることがわかります。

また校内体育大会・高専祭にも学生会役員として参加し、実行委員の方々に協力しました。

今年度の残された活動もわずかとなりました。ここまで来られたのは皆さんのご協力があったからです。最後まで気を抜かず頑張りたいと思います。また、来年度の学生会もよろしくをお願いします。



自転車マナーアップキャンペーン

年に一度の大イベント高専祭

毎年10月に行われる高専祭は、一年の中で最も盛り上がる大イベントです。高専祭の準備は大半が学生たちの手によって行われ、4月から高専祭実行委員と学生会で準備を始めます。実行委員は各クラスから募り、企画・看板・パンフレットの部署に分かれます。どの部署も高専祭が近づくにつれて、徹夜になるほど忙しくなります。その分、最高の高専祭を作り上げることができます。



ライブの様子

高専祭当日は、朝早くから集まり最終打ち合わせや準備を行います。高専祭が始まればステージで司会を務めたり、先生方と協力して駐車場の整備やパンフレットの販売・食券の販売を行います。また、後片付けも、実行委員と学生会が協力して行います。



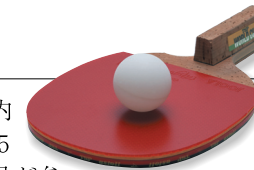
わたあめ

今年はこれまでの高専祭と異なり、金曜日と土曜日に行われました。土曜日のみ一般公開となりましたが、二日間とも様々な企画が設けられ、大いに盛り上がりました。金曜日は晴天に恵まれましたが、土曜日は風が強く一般の方に来ていただけるか心配でした。しかし、思いのほか盛況で、大成功となりました。

多少のアクシデントはありましたが、皆さんのご協力により無事に高専祭を終えることができました。

校内体育大会

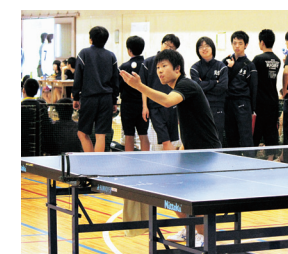
毎年5月に行われる校内体育大会は、1年生から5年生さらに専攻科・教職員が参加し高専祭に負けないうりの盛り上がりを見せます。体育大会はクラスTシャツを作るなどして、クラスの団結力を強めることができるとも良いイベントです。特に入学して間もない1年生にとっては、ぴったりのイベントです。今年はソフトバレー・ソ



ソフトボール



バスケ



卓球



ソフトバレー